

第1655回 2014.9.16

2014-2015

# LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ ●創立：1980.2.12 ●認証：1980.2.25

■会長／榊原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所  
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司 会 S. A. A 杉山 知子君
- ソングリーダー 杉山 知子君
- ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- 今月の歌 「ツキ」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ビジター 伊奈 正彦君 (常滑)  
加藤 知成君 (東知多)

**会長挨拶** 会 長 榊原 肇君



今月は 新世代のための月間です。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

話は変わりますが、皆さんは30歳までの間、何かロータリークラブから支援を受けたという記憶がありますか。私には思い当たる記憶がありません。父親がライオンズクラブの会員であったため、子供のころ、外国の若者を我が家にホームステイで何度となく受け入れていたことを思い出します。その挙句、父親がホームステイで受け入れたカナダの学生の家を訪問したり、私と妹はオランダへホームステイでお世話になったり、そのころの思い出は今でも忘れません。

ロータリーがすることで、若者にかかわることができ、なおかつそれが良いことであれば、その若者が大人になったとき、よきロータリーの理解者になってもらえると思います。先日行われた半田南RCロータリーデーで目録をお渡しした、半田中学校へ支援する高速印刷機の準備ができ、間もなく贈呈式を行いたいと

予定しています。日程の調整ができ次第ご案内しますので。多くの方の参加をお願いします。

最後に、お伝えしたいことを3点お話しします。1つ目は先日行われた半田南RCロータリーデーが9月9日付の中部経済新聞に記事として掲載してもらいました。2つ目は10月12日に武豊町制60周年を記念して行われる第5回武豊ふれあい山車まつりのパンフレットにロータリークラブからのメッセージを載せさせてもらいました。最後に、広島土砂災害支援についてです。8月20日 広島市で前日から続いた大雨は未明に局所での豪雨となり、広島市北部の住宅街を中心に多くの土砂災害が発生しました。当クラブも迅速な支援をすべく、義捐金による支援を行います。ご協力をお願いします。

- 幹事報告** 幹 事 岩部 雅人君
- ①広島豪雨災害義捐金のお願いです。
  - ②9/9(火)夜間合同例会の御礼状が名古屋名北RCさんより届いています。
  - ③10/10(金)7RC合同例会の出欠席の連絡をお願いします。合同例会時の駐車場の案内を回覧します。
  - ④「ロータリー希望の風奨学金」の寄付の領収書と御礼状が届いています。
  - ⑤ガバナー公式訪問の集合写真の注文を再度取らせて戴きます。
  - ⑥南佐久RCより会報が届いています。
  - ⑦メナード美術館の招待券がございます。

### 委員会報告

- 出席委員会  
第1655回例会 9月16日(火) 天気(晴)  
本日の例会は23名の出席にて、出席率は63.88%です。なお、前々回は1名のメーキャップにて97.22%に訂正します。

- Smiling Box  
河合 英樹君 本日卓話です。似合わない話をさせていただきますので、とても緊張しております。宜しくお願いします。  
早退します。 間瀬 正君

合計2名 3,000円



スピーカー 河合 英樹君
演 題 「三英傑と地元愛知の旧跡」



次回の例会

第1657回例会

10月7日(火) 於 半田商工会議所

卓話資料

織田 信長 父=織田信秀
母=土田氏

- 1534年(天文3年)織田 信長誕生
現在の名古屋にて信秀の次男として誕生
(幼名 吉法師)
1539年(6歳) 尾張屋敷を買い受ける。
1548年(15歳) 新築道場の城(濃城)と改略結婚
1555年(22歳)尾張平定。
1557年(24歳) お家騒動の根源であった実の弟
織田信行を殺害。
1559年(26歳) 上洛し足利義輝に拝謁
1560年(27歳) 桶狭間の合戦にて今川義元を勝利。
1562年(29歳) 徳川家康と清洲同盟を結ぶ。
1563年(30歳) 美濃国攻略
1567年(34歳) 近江の浅井長政と同盟を結び、妹の『お市』を嫁がせる。
『美濃攻略』
1568年(35歳) 明智光秀の仲介により足利義輝を奉じて上洛を果たす。
二条御所を建設し將軍足利義輝を御所に、15代室町將軍につける。
・北伊勢平定、次男織田信忠を養子に送り込む。
1570年(37歳) 足利義輝を殿中御座で謀殺したことから対立。
・上洛に促さない新倉義興攻めに向かうが、義興浅井長政の裏切りにより窮地に。
しかし、羽柴秀吉、明智光秀らの働きにより京都へ無事退却。
・岐阜に籠り再び軍備を整え、越前(朝倉義景)と近江(浅井長政)と北近江の
姉川を挟んで戦い勝利。
1572年(39歳) 武田信玄の脅威。
・武田信玄が甲斐の国より上洛戦開始。
・武田軍が美濃を襲撃して徳川軍を破る。尾張軍の危機。
1573年(40歳) 形勢逆転
・武田信玄が病死により危機を回避。
・朝倉、浅井両名を追い込み自害させる。
1575年(42歳) 長篠の戦いで武田勝頼に大勝。
・嫡男織田信忠に家督を譲り、原康国、美濃国の岐阜城を与える。
1576年(43歳) 安土城を築城し、居城とする。
1577年(44歳) 毛利氏との対立
・羽柴秀吉に中国攻めの総大将を命ずる。
1579年(46歳) 菅本村重方の有岡城を落とす、村重の一族、家臣を処刑。
・丹波、丹後国を平定。
徳川家康の正室(『妻山御前』と嫡男『松平信康』)を武田に内通した疑いで
家康に処刑を命ずる。
1582年(49歳) 本能寺の変
・浪路国を平定。
・伊賀国を平定。
・武田攻めの功を頼るため、家康を安土城に招き接待。
この時の接待係が明智光秀。
・本能寺の変
中国への出陣途中、京都本能寺にて明智光秀の謀反により
嫡男信忠とともに無念の自害。

孫子の兵法

- 勝つためには、『彼を知り、己を知る事である』
・戦いの主導権を奪取するには人に致して、人に致されず』そして
『実を避けて虚を討つ』事を考える。
・『その無備を攻め、その不意に出ず』ることも、勝利を勝ち取る重要な条件。
・戦いは『正』を以て合し、奇を以て勝』正攻法と奇襲によって勝利を収める。
・戦い易きに戦う
・戦わずして勝
・兵力に応じた戦い方に心掛ける。十倍の兵力なら囲い込みし、5倍の兵力なら攻撃し
互角の兵力なら勇戦し、劣勢の兵力なら退却し、勝算がなければ戦わない。
・『兵の形は水にかなたどる。』ように、兵力の分散と集中に注意し
、敵の状況に応じて変化させる。

豊臣 秀吉 父=木下弥右衛門
母=大友(大政所)
(信長との年の差3歳)

- 1537年(天文6年)豊臣 秀吉誕生
現在の中村区の農民として生まれる
(幼名 日吉丸) 木下彌右衛門一羽柴秀吉一藤原秀吉一豊臣秀吉
1554年(18歳) 織田信長に仕える。
勝負を現し、結婚、足軽大将、と次々に出世。
1560年(24歳) 桶狭間の合戦に小兵として参戦。
1561年(25歳) 『いね』と恋愛結婚。
1566年(29歳) 美濃国攻略のため信長の命にて善後城築城。
1567年(31歳) 織田郡の美濃国斎藤隆興攻めで活躍。
軍師 竹中半兵衛を迎え入れる。
・信長の上洛戦に従軍。
1569年(33歳) 丹波国を平定。
1570年(34歳) 金ヶ崎の退き口。浅井長政の裏切りにより、退却戦の殿軍を勤める。
・その後、小谷城の抑えとして、築城された横山家に入り、対浅井戦の
最前線を任せられる。
1573年(37歳) 浅井との戦いの功績が認められ、長浜城主に
1577年(41歳) 北陸方面軍の柴田勝家の応援を命じられ赴くが、勝家と意見が合わず、
独断で引き継いで、信長の怒りを買う。
・信長に誘われ、信長山城の戦いに参戦。
・信長の命により、毛利氏との戦いに向け中国方面の総大将を任せられる。
・播磨国の黒田官兵衛を配下に入れ、その播磨姫路城に入城。
・毛利氏と対峙。
1578年(42歳) 播磨国、上月城の尼子勝久の播磨軍に答えられず、見殺しに。
1579年(43歳) 別所長治の難を、三木城兵糧攻めを行う。
1580年(44歳) 三木城の別所長治を自害させ、播磨国を平定。
・黒田官兵衛から姫路城を譲り受け居城する。
・但馬国の山名元就を攻め、但馬国を平定。
・播磨国と山城国の国境の山崎の戦いで明智光秀を敗走させる。
この軍功により、織田家での発言権を高め、主導権を握る。
(山城国、山崎城を居城に)
・清洲會議
信長の後継者を決める重臣會議にて、筆頭家老の柴田勝家らは、信長の三男『信孝』を
擁したが、秀吉は本能寺の変にて死去した、信長の嫡男の子供『三法師 秀徳』が妥当として
対立。結局、発言権の強い、秀吉の案が通る。
1583年(50歳) 柴田勝家との争い
・秀吉の横行を許さず柴田勝家との戦。度々時代からの秀吉の親友、前田利家が秀吉方につき
勝家攻めの先頭をつとめ勝利。勝家の妻(信長の妹お市と3姉妹)を保護。
・お市の嫁=茶々(淀殿) 後に秀吉との間に、秀徳をもつける。
1584年(51歳) 小牧-長久手の戦い。
徳川家康と織田信雄(信長の次男)との対峙。信長の後継者争いで、秀吉が主導権を握った事に
不満を抱いた信雄の軍議を受け家康が後押しする。
しかし、決着がつかず6月に戦いは終了。
家康の次男、於菟丸を養子に迎え、羽柴秀康と命名。
これより実質的に秀吉が天下人となる。
1598年(62歳) 病に伏し、後継ぎの秀頼を家康や利家に「くれぐれも頼む」と言い残し伏見城にて死去。

徳川 家康 父松平忠忠
母=於大の方
(水野忠成の娘)
(信長との年の差1歳)

- 1542年(天文11年)徳川 家康誕生
現在の岡崎市にて松平忠忠の嫡男として誕生
(幼名 竹千代)→松平元康→元服後に家康
1547年(6歳) 多感な時期を織田家や今川家への人質として過ごす。
このころ、8歳年上の信長(吉法師)と親交を持つ。
1557年 今川義元の将『徳川義元』と改略結婚。
1560年(19歳) 桶狭間の合戦に今川軍として参戦。大高城に
兵糧を運び入れるなど功績を挙げす。
・今川義元が織田信長に討たれた事をきっかけに、故郷の
岡崎城に入城。しかし、その後も織田信長との敵対関係は続く。
1562年(21歳)
・伯父である、水野元元の幹政により織田信長と和睦、清洲同盟を結ぶ。
以降は駿河国と敵対関係に。
1566年(25歳) 信長とのころまでに三河国の一向一揆などの敵対勢力を平定。
・松平→徳川に改名。
1572年(31歳) 武田信玄の脅威。
・武田信玄が甲斐の国より上洛戦開始。
・武田軍が美濃を襲撃して徳川軍を破る。尾張軍の大敗。危機が訪れる。
1573年(32歳) 武田信玄が病死により危機を回避。
1575(34歳) 武田勝頼に三河国北部(長篠城)を奪われるが、信長の協力のもと長篠の戦で、
武田勝頼を破る。
・遠江国諏訪原城を攻略
・遠江国二股城を攻略
・遠江国大原城を攻略
1579年(38歳) 信長より正室妻山御前と嫡男松平信康が武田に内通しているとの疑いにて、
処刑を命ずらる。
・正室妻山御前は謀反途中に暗殺させ、嫡男松平信康は自害させた。
1581年(40歳) 武田勝頼の奪われていた、遠江国の高天神城を攻め、奪還。
1582年(41歳) 織田信長に討たれ武田勝頼攻めに参陣。
・武田家を滅亡させ、駿河国を加増させる。
1582年(49歳) 本能寺の変
・少人数にて和泉国堺を観光中であったが、信長死すの連絡を受け、危ない状態であ
ったが、茶屋清兵衛の助けを受け急遽、伊賀国隠岐由三河国へ無事帰国。
・三河国へ帰国後、軍備を整え信長の嫡子に向かうが、途中、秀吉によって
光秀は敗走した事を知る。
1582年(41歳) 清洲會議
清洲會議参加豊臣家臣
柴田勝家(筆頭)
丹羽長秀
羽柴秀吉
池田元興
の4名 徳川家康はこの時点で織田家の家臣では無い為、参加せず。
1584年(43歳) 小牧-長久手の戦い。
徳川家康と織田信雄(信長の次男)との対峙。信長の後継者争いで、秀吉が主導権を
握った事に不満を抱いた信雄の家康が後押しする。
しかし、決着がつかず6月に戦いは終了。
1586年(45歳) 秀吉の『新築城』と結婚 秀吉の奥母『大政所』を岡崎城へ送り込む。
この秀吉の奥母により家康は大坂城に併合し秀吉の臣下になる。
1590年(49歳) 關東の北条氏を滅ぼし、武蔵野国江戸城を居城とする。